

「障害者」に学ぶ今後の BOP ビジネス

山崎優輔 (21111330yy@tama.ac.jp)

1、目的

今回の研究では今後の BOP ビジネスのあり方について考えたものである。背景として、今、世界中で BOP ビジネスが盛んである。しかし、相手にとって良い BOP ビジネスばかりではないのが現状である。そこで、よりよい BOP ビジネスのあり方を考えてみた。

2、内容

現在の BOP ビジネスの問題点を考え、実際に行われている障害者を対象にしたビジネス（盲人医療マッサージ会社ゲンキ、中村ブレイス）から今後の BOP ビジネスについてのあり方を考えた。

3、結果

実際に行われている障害者を対象としたビジネスの例から今後の BOP ビジネスは「現地」の人を、「現地」のモノをもっと使うことで、貧困国が自立できるビジネスへとつながると考える。

4、参考文献

- ・世界銀行 (<http://www.worldbank.org/ja/country/japan>)
- ・引用図書：「貧困のない世界を創る」
著者：ムハマド・ユヌス 出版社：早川書房 発売日：2008/10/24
- ・http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Download/Report/2007_01_13.html